



同友会の活動
はこちらの
QRコードから
ご覧いただけ
ます。▶



4

2019年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

立場と役割を再確認し、 課題解決の糸口をつかむ

幹部・中堅社員交流会



三月十三日(水)、同友会事務所・会議室を会場に「幹部・中堅社員交流会」を開催。交流会の目的として「リーダーの立場と役割を再確認し、課題解決の糸口をつかむ」を掲げ、前年の幹部・中堅社員研修会(二日間)で好評だった「シェアリング(経営者も同席しての意見交換)」をプログラムの中心に据え、夜の時間帯で企画・運営されました。参加者は受講者・経

営者合わせて約三十名。社員教育委員長の開会挨拶に続き、アライ商会(株)、取締役部長・徳井勝行氏が「私が考えるリーダー像」と題して問題提起。入社から中堅社員、現在の立場に至る道のりを振り返りながら、自身が大切にしてきた価値観や考えなどを「リーダーになりたいと思う気持ち」「自分の強みを明確に持つ」「学ぶ姿勢を大事にする」「心配より心配り」にまつわる各体験談を通して紹介していただきました。問題提起の最後には「もちろん自分に言い聞かせる意味もあるが、みなさんも一歩踏み出して、絶対に良い会社をつくって行きましょう」と参加者にエールを送りました。

その後のシェアリングでは「現在の立場と役割、そして課題」をテーマに、それぞれの立場で日ごろ抱えている課題や悩みを率直に意見交換。グループ発表では「上司と部下、双

方とのコミュニケーションが組織を円滑にする」「一人で仕事を抱え込まない。必要以上に口を出さず、信頼して仕事を任せるのが大事」「リーダーとして責任にプレッシャーを感じていたが、色々と相談できて肩の荷が下りた」などの気付きや感想が語られました。

また、経営者側からのアドバイスでは「課題や悩みは業種や企業規模を問わず共通している。自社だけが特別ではないので、一人で悩まずに経営者に相談してほしい」「新人時代と違い、周りや先のことも考えなければならぬのがリーダー。焦らずに現在できることを積み上げてもらいたい」「明日から一歩でも前に進めるように前向きな気持ちで仕事にあたってほしい」などの言葉が受講者に投げ掛けられました。



Society5.0の新時代に必要とされる企業へ

伊勢崎・埼玉北部合同例会

二月二十六日(火)、本庄商工会議所を会場に「伊勢崎支部・埼玉北部地区会合同例会」を開催。本合同例会は年に一度の恒例行事としてすっかり定着し、回を重ねること十回目になります。報告者を測量・建設コンサルタント・環境計量などを手掛けるプロファ設計㈱、代表取締役・杉山崇氏(伊勢崎支部)が務め、「激変した平成時代、二代目社長のキセキ Society5.0の新時代に必要とされる企業へ

」をテーマに自身の経営体験を語りました。

杉山氏は、激変した平成時代の出来事(自社関連)、最盛期の約半分にまで削減された公共事業関係費の推移を振り返った上で、自社が直面してきた経営課題と、その解決に向けた新事業への挑戦や経営方針、社内改革などを時系列で説明。「顧客である国の動向を見ながら会社のあり方を常に変化させていった。会社における責任、良いことも悪いことも全て社長に帰ってくる(帰責)」と、現在に至る軌跡を回顧しました。

また、新たに国が打ち出した「Society5.0(世界に先駆けた超スマート社会の実現)」への対応については、従来の測量データではなく、ドローンやレーザースキャナなどで計測した三次元測量データの作成に

注力している現状を説明。さらに実際の地形や構造物に基づいて作成されたAR(拡張現実)・VR(仮想空間)・MR(仮想空間+現実空間)の動画も紹介しました。



自己破産寸前からの生還

前橋支部2月例会



二月二十日(水)、前橋市中央公民館を会場に前橋支部二月例会を開催。埼玉同友会所属の㈱メガワークス、代表取締役・永井義昭氏を報告者に迎え「自己破産寸前からの生還」を見せていますか?自社の数字」とのテーマでお話しいただきました。

切迫した経営状況から現在に至る体験を、カギとなるエピソードと合わせて赤裸々に語る永井氏。改善のキッカケは「経営指針成文化セミナー」とは言うものの、自身と社員の努力の賜物であることは報告からも容易に想像できました。

「当時はドンブリ経営で数字の意味する物が分からなかった」と言いますが、報告の最後には「決算書は良くも悪くも結果。経営者に必要な生きた資料は制度会計ではなく管理会計である」と、困難を乗り越え数字の重要性を理解してきた自身の考え方を紹介しました。

参加者アンケートには「数字の大切さと、そこから何を読みとり対処すべきか」「数字に責任を持ちコントロールすることが重要」「凡事徹底。中小企業が生きる道はこれだと思う」といった感想が記されていました。



想いを形にする行動力

太田支部2月例会



二月二十七日(木)、蕪川行政センターを会場に太田支部2月例会を開催。エステ、訪問フットケア、ジュネル取扱店、各種イベント・交流会の開催などを行うBeauty Salon Clara、代表・渡辺真由美氏が「想いを形にする行動力」女性起業家の挑戦」と題して経営体験を報告しました。

容関連イベントを毎年開催するなど、美容・健康に対する啓蒙にも力を入れています。起業も含め渡辺氏を挑戦に駆り立てるのは「人生一度きり」という自身の考え方で、その想いを行動に移すために「映像としてハッキリ頭に浮かぶまで具体的に想像する」と挑戦のプロセスを紹介しました。

参加者アンケートには「良いイメージを常に継続することが形になっていく」「行動なくして成長なし。報告から伝わりました」といった感想が数多く寄せられました。

攻めの戦略、守りの戦略

高崎支部2月例会

二月十五日(金)、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部2月例会」を開催。財務会計・給与計算のパッケージソフト開発を手掛ける㈱シスプラ、代表取締役・樫沢均氏(高崎支部)が報告者を務め、「攻めの戦略、守りの戦略」数字は全てを支配する」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

乗った差別化戦略、絶頂期から転落のリストラ戦略、直近十年における経営安定戦略・成長戦略の三つ期間に分けて、それぞれにおける経営状況や具体的な取り組みなどを説明しました。また、新時代に向かって同社が目指すものとして「大企業並みの雇用条件と労働環境を実現する。相当ハードルは高いが社員との約束を果たしたい」と力強く語りました。



報告終了後は「自社のリスクに備えていますか?」をテーマにグループ討論を実施。「個人に頼らない組織経営」「人手不足への対応」「事業の新たな柱の構築」など、活発な意見交換が行われました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー 株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: <http://www.apm-f.com> E-mail: fuse@apm-f.com

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

志と縁

桐生支部2月例会

二月二十七日(水)、桐生市市民文化会館を会場に「桐生支部2月例会」を開催。納豆の製造・卸売・販売を手掛ける(有)下仁田納豆、代表取締役・南都隆道氏(富岡支部)が「志と縁」を納豆で描く壮大なロマンをテーマに報告しました。同社は一月末、フジテレビ系「奇跡体験!アンビリバボー」にて紹介されたばかり。

納豆にまつわる歴史、大豆へのこだわりや経木を使用する意味(一石五鳥)などの説明に続き、テレビ放送でも取り上げられた「もぎ豆腐店・茂木社長とのエピソード」を語った南都氏。本人によるリアルな体験談や細かい心理描写は、放送とは一味違った感動が参加者に伝わりました。また、報告の最後には展示会での出来事を例に挙げて「大手バイヤー



が相手でも目線は同じ。こちら側が主導権を持てる会社づくりが大事」と中小企業の生き残る道についても言及しました。

その後は南都氏の報告をもとにグループ討論を実施。「志」「縁」「ブランド戦略」「商品力」など、幅広いテーマで意見交換が行われました。

経営指針をつくる会・成果発表

富岡支部2月例会



富岡支部2月例会は、今年度の「経営指針をつくる会」に初めて参加した三名による成果発表会でした。

発表者は伸成工業(株)の萩原専務、中島生花店の中島チーフ、(有)妙義ナバファームの黛取締役の三名。「山積している経営課題を社員全員で解決するため」「冠婚葬祭をはじめバブル景気前後の華々しさは今の時代に薄れてゆく記憶となり売上が減少する中で再び大きな花を咲かせたい」「経営者の妻として、良きアドバイザーになりたいと思

い、経営者としての考えを身につけたい」と、それぞれ参加した目的を語りました。

自社の現状を理解し、課題が見えてきたこと、先代の思いを聞くことや社員アンケート等の宿題によって相互理解がすすんだことは大きな成果だったことが伺えました。

そして報告の最後には、三名とも次年度の継続参加を表明していました。

(※毎月の例会の様子は、富岡支部のブログでも詳しく紹介されています)

アルマイト・メッキ(亜鉛、ニッケルetc)・真空蒸着
含浸処理・塗装(UV、粉体、溶剤、カチオン)

上毛電化 株式会社

ISO9001:2015認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL: 0274-24-3228 FAX: 0274-24-4841
URL: <http://www.alumite.jp/> E-mail: joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社(表面処理) ヘイワテクノ株式会社 株式会社高橋塗装工業所

S/S 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決!
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、
調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、
耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466
〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>

社長、目的地はどこですか？

沼田支部2月例会



二月二十六日(火)、利根沼田文化会館を会場に、こんにゃくの製造・卸を行う㈱北毛久呂保、工場長・狩野正充氏が「社長、目的地はどこですか？」社員が参加した経営指針をつくる会」と題して報告しました。

転職で同社に入社した狩野氏は、工業製品の製造現場で工程管理などを得意としていた事もあり、工場を任せられ改善に着手します。クレームの減少や作業効率の改善といった手応えとは裏腹に赤字は解消せず、その理由が分からない悔しい思いを胸に「つくる会」に参加したとい

二年連続で中間管理職として参加し、数字や外部環境の分析、他社の参加者との意見交換を通して見えてきた自身の立場をカーナビに例え「目的地は理念、社長が設定。運転手は現場の社員。ルート設定や渋滞情報、必要な案内を流すのが自分の役割。文字通り社長と社員の中間に入りの確な情報を発信していきたい」とまとめました。

参加者アンケートには「カーナビの発想は今までなかった」「ロマンの社長とソロバンの幹部、羨ましい」といった感想が記されていました。

聞いてください！私の悩みⅢ

渋川吾妻支部2月例会

渋川吾妻支部の2月例会は、

「聞いてくださいー私の悩み・パート3」と題して、都丸農園の都丸悟氏が報告しました。

大学卒業後、百貨店に勤めて

いましたが、父が体調を崩したことをきっかけに地元へ戻り、二十五歳で就農しました。

しかし、農業のことは全くわからず、「最初はアルバイトをしながら修行させてもらいましたが、試行錯誤の連続でした」と

当時を振り返ります。

今では二十四ヘクタール、正社員四名・パート十二名で、レタス・キャベツ・長ねぎ等を生産しています。

規模が拡大してきても、一貫して「おいしいもの」への情熱は強く、「魚や米糠のアミノ酸を使った有機肥料にこだわっている」と都丸氏。

そして現在の課題は規模拡大。現在の赤城町は後継者難でリタ

イヤする農家が多く、「遊休農地を増やさないとすること」も我々の使命ではないか」と語りました。

参加者からは「業種業態によって違うが、規模拡大は利益が伴わなければ意味がない」「何をするにも人がベース」「他人と比べることなく信念を貫いてほしい」等々、誰もが自分事のように捉え、熱い叱咤激励を送りました。



高崎産業技術専門校との交流会

高崎支部2月例会(特別例会)

二月十二日(火)、群馬県立高崎産業技術専門校を会場に「高



崎支部2月例会／特別例会」を開催。同校のメタル技術科・機械技術科・住まいづくり科で学ぶ生徒との交流会を企画し、総勢七十五名(うち学生五十八名)が参加しました。高崎支部では通算八回目の県内学生との交流会であり、同校との交流会は昨年に続き四回目。

開会挨拶・趣旨説明に続き、㈱アイテックス・小松川さんが「私の仕事と心構え」と題し、

社会人の先輩として自身の経験や仕事に向き合う姿勢などを分かりやすく紹介しました。続いて、(有)山崎製作所・山崎社長が「求める人材と中小企業の魅力」と題して、若い人材に対する経営者の期待、自社の実践事例を通じて中小企業の魅力などを提起しました。

その後、学生・経営者が十テーブルに分かれてグループ討論を実施。「働くとは」「社会人として」「中小企業の魅力」などをテーマに、各人の考え方や経験談、学生が抱く不安や悩みに至るまで、活発な意見交換が行われました。



産業廃棄物の ワンストップサービスを目指して



澤希運輸(有)

代表取締役 中澤 直希 氏 (高崎支部所属)

Q & A

▼会社&自己紹介

当社は二〇〇五年六月に設立。産業廃棄物収集運搬業および一般貨物自動車運送事業を手掛けており、車両台数は全二十四台になります。メインの仕事は大型車両による産業廃棄物(特に建設関連)の輸送で、三十三都府県の産業廃棄物収集運搬許可を保有しています。

二〇一三年には前橋市内に中間処理工場を取得(株)エコ・ディスタンス)し、収集運搬から中間処理までをグループ会社内で対応できるようになりました。また、二〇一五年には新社屋を建設し、現在地に移転しています。

私は大学を卒業してから製造業に一年だけ勤務し、父が設立した会社へ入社。その約一年後、澤希運輸の設立と合わせて社長に就任しました。最初は社長とは名ばかりでしたが、大型免許の取得、大型トラックでの実務や車両整備、運送業の要である配車業務などを経て現在に至っています。

▼イチオシ

会社紹介でもお話ししており、グループ会社内で収集運搬から中間処理までを担えるので、面倒な手続きの短縮やコストの削減などが可能です。また、大型トラックでの大量輸送はもちろんのこと、さらに大量輸送が可能なトレーラー(平ボデー車・最大二十七トン積載)を昨年十月に導入したので、一度に大型トラックの一・五〜二倍の輸送が可能になりました。そうしたトータル的なメリットをお客様に提供できるのが、当社のイチオシになります。

荷物を確実に積み、安全運転で目的地へ無事に運び届け、帰庫するまでが輸送サービスになります。そして、その車両のハンドルを握るのは他ならぬドライバーです。



イバーです。当社の事業を語るうえでドライバーは不可欠であり、もともと大事な存在なのを言うまでもありません。

▼経緯

中間処理工場の取得は、父が事業をスタートさせてからの一つの目標でした。父は日頃から口に出していたので、思うだけでなく言い続けることの大切さを学びました。実際に中間処理ができるようになって、収集運搬の幅の広がりや運搬効率の上昇、さらに新規顧客の獲得にもつながりました。

トレーラーの導入については「自分も乗ってみたい」という社員(ドライバー)からの要望がきっかけです。もちろん個人差はありますが、ドライバーであれば「より大きな車両を運転

したくなる」のが心情というもので、それを叶えてあげたいと思いました。実際に導入した結果、ドライバーたちはとても喜んでくれましたし、輸送の効率化も図れました。

▼展望

将来的には収集運搬から中間処理、さらに最終処分までをグループ会社内で完結する「ワンストップサービスの実現」を目指しています。それができれば、お客様にも当社にも、さらに大きなメリットが生まれてきます。

ドライバー不足と高齢化は業界全体の大きな課題です。新卒を含めた若い人材の採用・育成の仕組みを社内に整備しないと、今後は生き残っていけないかもしれません。また、一昨年には前橋高等特別支援学校から障害を持つ生徒を採用しました。女性・高齢者・障害者など、幅広い人材が活躍できるダイバーシティ経営を進めたいと考えています。

所在地 / 高崎市金古町153-13
連絡先 / TEL027-360-6667
URL / <http://sawaki-unyu.com/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【旅館甲子園 都内で決勝】

(株)ホテル松本楼

全国各地の旅館、ホテルが魅力やこだわりをアピールする「第4回旅館甲子園」が20日、東京ビッグサイトで開かれた。1次、2次審査を通過した(株)ホテル松本楼(代表取締役・松本光男氏/沼田支部所属)、四万温泉柏屋旅館など3施設がファイナリストとしてプレゼンテーションをした。審査員や会場の投票などの結果、グランプリに酒の宿玉城屋(新潟)が選ばれた。

松本楼の松本光男社長は「全力を出せた。人材は宝。育て続けたい」と話した。旅館甲子園は、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部が業界の活性化などを目的に開いている。今回は加盟1,230施設のうち100施設がエントリーした。

[2/21付上毛]

【フットケアの訪問サービスをスタート】

BeautySalon Clara

足のトラブル対策を専門に手掛けるフットケアサロン「ニコルル」(BeautySalon Clara、代表・渡辺真由美氏/太田支部所属)は、1月からデイサービスなどの高齢者施設を対象にした訪問サービスを開始し、人気を集めている。メニューは「介護アロマトリートメント」「足裏の筋肉ケア」「角質ケア」「甘皮ケア」「たこ・魚の目ケア」など、足の状態に合わせて施術する。訪問契約は施設と行い、半日(2時間程度)で1万5,000円(税込)。1人15分程度で半日契約だと8人程度の施術が可能だ。

渡辺代表は「1施設1回まで無料で体験訪問をしているので、ぜひ利用してもらいたい」と話している。営業時間は午前10時から午後6時までで、訪問時間は要相談。月曜定休。

[2/21付ぐん経]

【廃校で最先端農業】

中央カレッジグループ

2017年に閉校した旧渋川刀川小(渋川市赤城町)を活用し、専門学校運営の中央カレッジグループ(代表理事・中島利郎氏/前橋支部所属)が「農と食のイノベーションセンター」(仮称)を開設することが4日、分かった。系列校のサテライトキャンパスと位置付け、情報通信技術(ICT)を使った栽培や圃場管理などに取り組む。企業や地元農家と連携して新商品の開発や販売など6次産業化を進め、地域農業への波及効果を狙う。今秋のプレオープン、20年4月の本格稼働を目指す。

[3/5付上毛]

【鳥獣撃退用ドローンを開発】

(株)モハラテクニカ

精密板金や機械加工を手掛ける(株)モハラテクニカ(取締役・茂原慎吾氏/高崎支部所属)は、ドローン事業を手掛けるTEAD(高崎市)と共同で、鳥獣撃退用のドローンを開発している。実証実験を進め、年内の実用化を目指す。開発を進めているのは、モハラテクニカが開発し製造する鳥獣撃退装置「U-Sonic(ユーソニック)」と、TEADのドローンを組み合わせたもの。ドローンに搭載したカメラが撮影した画像を見ながら遠隔操作し、ユーソニックから超音波を発生させ、鳥獣を追い払う。超音波の発生は遠隔から専用のリモコンで操作し、電源はユーソニック本体のバッテリーまたは、ドローンか

ら使用する。

ユーソニック事業部長の根岸弘行氏は「猟師の高齢化によりシカやイノシシなど鳥獣は増え続けている。新しい鳥獣被害対策のツールとして実用化を目指したい」と話している。

[3/7付ぐん経]

【JAと提携し葬祭施設】

(株)メモリード

冠婚葬祭互助会大手の(株)メモリード(取締役・渡辺秀信氏/太田支部所属)は2日24日、JAたかさき(高崎市農業協同組合)と提携し、初の葬祭施設「JAメモリード豊岡会館」をオープンした。1日1組限定の貸切型で、今後もJAたかさきの提携施設の展開をすすめていきたい考え。オープンを記念し、24日には終活セミナー、マクロ解体ショー、大抽選会などのイベントを実施し、多くの地域住民らが来場した。同施設はもともと、JAたかさきが所有し、葬祭施設として使われていたが、今回、メモリードに声がかかり、提携施設として展開することとなった。

[3/7付上毛]

【赤城芝スキー場跡にメガソーラー】

(株)ソーラーエコ

関東を中心に太陽光発電事業を展開する(株)ソーラーエコ(専務取締役・河島優樹氏/前橋支部所属)はこのほど、自社最大規模の前橋赤城芝スキー場メガソーラー発電所を完成させ、稼働を開始した。敷地は約9,900平方メートルで、設備投資額は2億円。同発電所は、赤城国際芝スキー場跡地に建設。ドイツ製太陽光発電パネル4,080枚を使用し、年間120万kWh(一般家庭約330世帯分)を発電し、電力の固定価格買取制度に基づき、全量を売電する。同社の手掛ける太陽光発電所としては15カ所目で、累計出力は2,500kWhとなる。

河島専務は「芝スキー場跡地は南向き斜面で、太陽光発電には最適な物件だった。樹木1本伐採することもなく、自然破壊とは無縁に約3ヶ月で完成させた」と話している。

[3/14付ぐん経]

【2.5倍に拡張し移転オープン】

かわはら整骨院パーソナルトレーニングラボ

かわはら整骨院パーソナルトレーニングラボ(代表・入澤達也氏/前橋支部所属)が、このほど移転オープンした。広さを約2.5倍に広げるとともに、各種トレーニングマシンを設置、「健康」をテーマとしたカフェも併設、ヨガ教室も新たにスタートした。同店はもともと、上毛大橋近くの商業集積エリアの一角に17年にオープン。パーソナルトレーニングなどが好評だったが、手狭で駐車スペースも少なく、「機会損失などがあった」(入澤代表)。そこで、旧店舗から約50メートルの距離にある飲食店跡地に移転した。

入澤代表は「『ココロとカラダのコンシェルジュ』がコンセプト。これまでの利用者は約65%が女性で、経営者や医師などが多い。出勤前に訪れる人もいる」と話している。

[3/21付ぐん経]

【所属支部変更】

(株)小淵警備保障、常務・小淵豊太郎氏(前橋支部所属)は、この度、「伊勢崎支部」に所属支部を変更しました。

新会員
ご紹介3 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(有)見田村製作所

代表取締役
見田村 健 司
S46年生〒370-2451 富岡市宇田137-4
TEL: 0274-62-1670
FAX: 0274-63-6437

カーキラーのブリー加工、免震装置部品加工、オイルポンプ部品加工、穴あけほか

【紹介者/佐藤茂樹・朝岡伸江】

当社は、マシニング・NC旋盤を使い、お客様の要望に応えられる様、単品の加工から量産の加工まで幅広く対応している会社です。ステンレス・耐熱銅・インコネルなど特殊材も手掛けています。また、夜の人員をおくことで急ぎの品物にも対応しています。

富岡支部

第11回
理事会報告

日時 三月五日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所・会議室

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/山岸、澤浦、田村、提著、島山、常任理事/戸塚、吉池、町田、生沼、平岩、水野、花房、阿久戸、宮田、植杉、理事/海老沼、杉崎、佐藤、布施、篠原、池沢、佐藤、関口、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十三名)

【議事】

前橋支部の杉崎氏が議長をとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第十一回理事会開会。

I. 報告・連絡事項

1. 総務会報告

山岸代表理事より総務会での議論について報告がありました。

2. 各支部・部会・委員会等の案内報告

共同求人委員会、社員教育委員会、障害者雇用委員会より、それぞれ案内連絡等がありました。

ました。

3. その他

長崎で開催された中小企業問題全国研究集会の参加者数名より、感想などが報告されました。

II. 承認事項

1. 理事会への提案について

青年部会より、次年度の予算付けについて申し入れがありました。

2. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者一名、退会者四名を承認。会員数は五三四名となりました。

III. 審議事項

1. 新年度に向けて

新年度に向けて、活動報告案、組織機構案(再審議)、スローガン・重点方針案、部門方針案についてそれぞれ審議し、総会提案事項としてこれを承認しました。

2. 意見交換

「同友会運動の発展のために」をきちんと学ぼうと、三回目となる山岸代表理事の問題提起を受け、グループ討論で深め合いました。

IV. その他

1. 次回の理事会開催日程

第十二回理事会を左記の通り開催することが確認されました。

日時: 四月二日(火)

会場: 同友会事務所・会議室

全ての財務会計システムと連携可能
AIを活用したクラウド型経営支援システムYOJITSU
2019年4月リリース予定

同友会高崎支部会員

株式会社 シスプラ
http://www.syspla.co.jp/☎ 0120-638-377
群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL: 027-363-8377 FAX: 027-363-8313

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～◆ 本社 / 前橋市高井町一丁目29-7
TEL: 027-251-3535 FAX: 027-251-3540◇ 安中営業所 / 安中市西上磯部1736
TEL: 027-385-5261 FAX: 027-385-5291

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。

JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25

